

Thr ĊO₂H

シアリルグリコペプチド(SGP)

シアリルグリコペプチド(SGP) 化学名

CAS No. 189035-43-6

化学式,分子量 $C_{112}H_{187}N_{15}Na_2O_{70}$, 2909.72 NH_2 Lys 構造式 Val Ala Neu5Ac α 2—6Gal β 1—4GlcNAc β 1—2Man α 1 6 Manβ1-4GlcNAcβ1-4GlcNAcβ1 Asn Neu5Acα2—6Galβ1—4GlcNAcβ1—2Manα Lys Thr ĊO₂H CO₂H HO W AcHN NH_2 Lys НО Val Ala Asn CO₂H НО Lys . NHAc NHAc

95%以上 (HPLC) 純度

НО

NHAc

白色粉末 物理的状態

10mg, 100mg, 1g 包装単位

価格についてはお問い合わせください。

□ SGP とその用途

SGP(シアリルグリコペプチド)は、末端にシアル酸を持つ糖鎖にペプチドが結合した化合物で、様々な生体内での反応に係わっていることが知られています。例えば、インフルエンザウイルスの表面に存在するヘマグルチニンは、感染対象である細胞表面に存在する糖蛋白質のシアル酸残基と結合する性質をもっており、この性質を利用して細胞に感染することが知られています。この強い結合力を応用して、シアル酸基を持つ、制癌剤や抗ウイルス剤の開発、あるいはウイルスの検査薬の開発等が期待されています。

□ 均一構造

糖のグリコシド結合は様々であるため、構造の揃った糖鎖を合成することは 非常に難しいとされています。

一方、卵黄には均一な糖鎖構造の糖蛋白質が存在することが分かっていました。当社は、卵黄から品質の安定したSGPを安価に大量に製造することに成功しました。

この均一性を利用し、糖鎖ライブラリ原料としての使用も期待できます。

□ 期待される用途

- 1) インフルエンザを捕捉するマスクやフィルタ
- 2) 医薬品原料
- 3) ウイルス検査薬
- 4) 糖鎖研究用試薬 (糖鎖ライブラリの原料) など

お客様のご要望に応じた各種誘導体にも対応しています。

遠慮なくお問い合わせください。

【問合せ先】

株式会社伏見製薬所

港町工場 開発課 〒763-8605 香川県丸亀市港町 307

TEL:0877-22-6283

東京営業所 営業開発部 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-4-3

TEL:03-3243-4860

URL: http://www.fushimi.co.ip/

E-mail: info@fushimi.co.ip